

インフラメンテナンス国民会議 地方フォーム「ちゅうごく」発足

事務局は復建調査設計

社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐために、産官学民の技術や知恵を総動員するプラットフォーム「インフラメンテナンス国民会議」の、中国地方版となる「インフラメンテナンス国民会議『ちゅうごく』」が先月28日に発足した。

「インフラメンテナンス国民会議」は、平成28年に設立。高度経済成長期に整備したインフラの急速な老朽化が全国的に進行する中、効率的なメンテナンスを図るために

取り組みを進めており、事務局は国交省に設置されている。「インフラメンテナンス国民会議『ちゅうごく』」は、今年3月に設立。リーダーは広島大学大学院工学研究科の藤井堅特任教授が務め、事務局は復建調査設計（株）（東区光町）が担当する。

先月28

日の発足

会議では

復建調査設計の藤



井友行氏

から概要説明があり、藤井リーダー他による講演もあつた。民間企業と連携した技術開発や、地域住民との連携促進等を目指に掲げており、中国地方5県におけるニーズを深掘りしていく。なお3月時点での会員数は、